

# 研究の途中経過

# LDX事業の方向性 → 部会の編成

## 授業改善部会

- 学び方のスキル育成
- 見方・考え方の育成  
(指定校実践①)

## 学びの基盤部会

- 情報活用能力の育成
- 端末持ち帰りの充実  
(指定校実践②③)

(指定校実践④「校務DX」は日常的に)

「学びの基盤」「授業改善」の2本柱

# 校内研修

記録をお願いしますー→ 部会記録													
	取り組み内容	人数	★低中高特 各1の必要	メンバー ☆主	統括	資料							
字びの基盤部会 <a href="https://iamboard.goo">https://iamboard.goo</a>	① Google for Education活用表の活用推進 ・堀田教授監修の活用表の活用推進	4		☆沢村 未永 木下 秋原	補方	Google fo...	<a href="https://docs.google.com/spreadsheets/d/1uaUdE">https://docs.google.com/spreadsheets/d/1uaUdE</a>						
	② タイピングの記録（児童）について ・個人ののびを児童に実感させるための取り組み ・記録の集計	3		☆松本 今福 深谷		タイピ...	資料 1	資料 2		資料 3	資料 4 各字帳用に編集が必要 なので、借用される場 合は、松本がICT支援 さんまでご相談くださ い。	資料 5	
	③ 端末持ち帰りについて ・持ち帰り表の作成（池田） ・充電器の扱い（宮本） ・ルールづくり（頻度、内容等も含む） ・端末持ち帰りについての意識の変化	4	★	☆池田 はじめ 宮本 中野	池田	回答フォーム <a href="https://docs.goo">https://docs.goo</a>	R6.本渡...	R6.本渡南...	→フォルダを開く→各字帳のスライ ドを選択「...その他の操作」→ 「共有」→「リンクをコピー」→児 童に共有		マスター...	① フォームズ ② テスト	タイピング タイピング...
授業改善部会 <a href="https://iamboard.goo">https://iamboard.goo</a>	④ スキルの見直し・具体化について ・スキル表の活用推進 ・スキル表の加除修正	3		☆緒方 金子 松中	平野	スキル育...	昨年年度3回目アンケート（児童用）			職員用アンケート		8/26 提案資料	
	⑤ 見方・考え方手立て表の活用について ・手立て表の活用推進（実践の蓄積） ・手立て表の加除修正（1月完成） ・参観授業時の参観の視点提案 ・参観授業後のアンケート集約	4	★	☆久保 山西 荒木 大塚		「見方...	参観授業...						8月26日提案 ：他部の学び方 のスキルを育成 するために参観
	⑥ 児童の変容について ・児童の音読調査の作成 ・実施計画作成 ・提案 ・集計（データの蓄積）	3	★	☆松永 平井 深浦		無り取り携...	<a href="#">低学年アンケート</a>	<a href="#">3年生アンケート</a>	<a href="#">4年生アンケート</a>	<a href="#">高学年アンケート</a>			
	⑦ 理論の共有 各教科（国 算 社を中心に）の理論提案及び 共通実践の推進	4		西川 中田 矢住 ☆平野		算数 R6 算数科	社会 R6.8.26	社会 社会科Figja	国語 R6 授業	国語 国語科授業づくり			

部会ごとの提案 → 情報の集約（スプレッドシート）

# 授業改善部会の取組

★学び方のスキルの育成

→スキル表の活用

★見方・考え方の育成

→理論の共有、手立て表の活用、児童の変容の見取り

**学び方＋教科(見方・考え方)の2本柱**

# 学びの基盤部会の取組

## ★タイピング技能の向上に向けて

→タイピングタイム…個人のものび、ランキング等  
端末活用の日常化

## ★端末持ち帰りの推進

→持ち帰り表の活用、AIドリルの活用、

## ★アプリ活用スキル

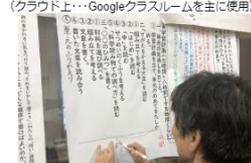
→Google for Education活用表の活用推進

# 授業改善部会の取組

「学び方のスキル」「見方・考え方の育成」教師の手立て

## ★学び方のスキル

## ★見方・考え方

1 「学習の見通し」のスキル		
低：慣れる・一緒に決める	中：自己決定	高：自己調整
<p>☐1-(1)単元のゴール・身につけたい力を明確に可視化して児童と共有する。</p> <p>☐単元計画や単元のゴールを教室に掲示したり教科書で確認したりする。</p> 	<p>☐単元計画や単元のゴールを教室掲示やクラウド上で示して児童と話し合いながら単元計画を立てる。(クラウド上…Googleクラスルームを主に使用)</p>  <p>☐「何時間くらいで活動ができそうですか。」 ☐「学習の流れは、この順番でいいですか。」</p>	<p>☐単元計画や単元のゴールをクラウド上で示す。(クラウド上…Googleクラスルームを主に使用)</p> <p>単元目標：日本の工業生産を発展させるための「工業生産へムアツ応援ブック」を作ろう！</p> <p>パフォーマンス課題</p> <p>学習キーワード</p> <p>単元ゴールや身に付けたい力をいつでも自分で確認しながら学習しましょう。</p> <p>※「パフォーマンス課題とは…単元を通して考えていく、実生活に近い内容を含んだ課題。※ルーブリックとは…評価を表として示し、児童と教師が共有するもの。(高学年のみ活用)」</p>
<p>☐「単元のゴールを一緒に確認しましょう。」</p> <p>☆ スプレッドシート…単元の学習課題に対する考えの姿容、振り返りに活用させる。</p> <p>☆ スライド…ポートフォリオ形式で児童に配布し、一時間ごとの記録(ノートの代わり)に活用させる。</p> <p>☆ ジャムボード…単元導入時、個人用を白紙で共有しておき、紙のノートの代わりとして活用させる。</p>		

学習過程の中で、児童が見方・考え方を働かせることにつながる教師の手立てについて、やってみたことを自由に書いてみてください！リンクを貼り付けるなど、自由に使って下さい。何でも構いません。各教科横断的な手立てを見つけられればと思います。よろしくお願ひします。

	国語	社会	算数・理科・英語	教師の言葉
課題設定	・学習計画で着目する言葉(見方)とどうやって考えるか(考え方)を確認する。		【算数】 ・問題事項をもとに、今日使えそうなことを確認する→「算数の目」として提示	「前の時間までに学習したこととは何か？使えることはないかな？」「前日と違うところは？」
情報収集	・「国語の目」を提示する。	・「社会の目」を提示する。 ・資料の読み取り方を教える。	・「教科の目」を提示する。	「～の目で、資料を見てみよう(文章を読んでみよう)」「今日の課題を意識しよう」「必要な情報だけ抜き取る(線を引こう)」
整理・分析	・整理の仕方をモニター等で共有 →「考え方」が表れているもの。	・「比較・分類」「関連付け」「総合」3つの考え方が表れる整理の仕方を教える。 →整理できている児童のジャムボードを全体で共有する	・課題解決時に着目したポイント(算数の目)を、chatに送らせる。 →考えをノートやジャムボードに書く際、chatにある言葉を使ってみるように促す	「どの思考ツールが使えかな？」「集めた情報を分類すると？」 →「まともなことに見出しをつけてみよう」
まとめ・表現	・アウトプットし合う中で、見方・考え方を意識した言葉をつかえている児童を取り上げる。例：	・アウトプットし合う中で、見方・考え方を意識した言葉をつかえている児童を取り上げる。例：	・とにかくたくさん友達に説明・質問させる →説明の時の言葉の中に、見方・考え方が表れているか着目させる。	「分かったことを一言で言うと何と言えるかな？」「説明してみても、友達に理解していたかな？」
振り返り	・意識した「見方・考え方」を振り返りで記述させる。	・意識した「見方・考え方」を振り返りで記述させる。	・意識した「見方・考え方」を振り返りで記述させる。	「振り返りの視点を意識しよう」「『○○さんの意見が良かった』を『○○さんの～という意見が良かった』という書き方を目標しよう」

# 手立て表への書き込みと共有

# 授業改善部会の取組

「学び方のスキル」「見方・考え方」の育成に向けた共通実践

## ★学び方のスキル

## ★見方・考え方

		9.10月 全学年重点項目「コミュニケーション」
	「学び方のスキル」9.10月重点項目（最終2つ）	理由や具体的な手立て等
低学年部	学習の発達し ▼ コミュニケーション ▼	【学習の発達し】 ・児童が単元の流れをつかむことで安心して学習に向かえるようにするため。 ・単元のゴール・身につけたい力を明確に可視化して児童と共有する。（掲示物） 【コミュニケーション】 ・ペア学習のねらいをつかませる。（単なる伝え合いにならない意識をもちって活動できるように） ・考えをもちえなかったときも、自分から相談に行けるように。
中学年部	学習の発達し ▼ コミュニケーション ▼	【コミュニケーション】 ・困ったとき、自分から動く児童を育てるため、手立て ・ペアやグループ、全体での学び合いの規約を示す。 ・他者の考えを参考にできる事件りをする。（図表に行く、クラウド上で確認するなど） 【学習の発達し】 ・次に何をすべきか考えて学習する児童を育てるため、手立て ・学習過程を板書やクラスルームに示す。 ・進度差に応じた課題や活動を手備する。
高学年部	学習の進め方（学習形） ▼ コミュニケーション ▼	【コミュニケーション】 ・全体の前での発表の機会の確保 ・単元終了で全体やグループで、まとまった自分の考えを発表する機会の確保 ・話し方・聞き方・意見の聞き方等の具体化、価値付け 【学習の進め方（学習形態）】 ・「こんなときこそタブレット」の活用 ・「今、みんなよく交際しているのはなぜ？」
特別支援部	学習の発達し ▼ コミュニケーション ▼	※振り返りで2つの観点から記述させる ・授業のほしめに、板書や学示ボードで確認を行う。 ・授業が終わる前、入り組見たりする機会を設定する。 ・児童の興味関心や学びを年かして、教材・教具を選定できるように準備する。 例：具体物や半具体物イラスト 絵画ペンやチョークやタブレットor文字カード ・コミュニケーションの方法を選べるように朝の会を進化させる。 例：発表の場、文字、反復、言い方、伝え方

		9.10月6
	理由や具体的な手立て等	
低学年部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明のときに使うキーワードを共有できるように、提示する。</li> <li>・振り返りで、キーワードを使ってまとめるように言葉かけをする。</li> </ul>	
中学年部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の初めや単元初めに、何に着目するか（見方）を示す。</li> <li>・振り返りで、何に着目して、どのように考えたかを確認する。</li> <li>・既習事項を活用するように、うながす。</li> <li>・「=」に着目して」</li> </ul>	
高学年部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで教科の見方・考え方に関する記述させる。（「～という点でみると…ということが言える」）</li> <li>・既習事項の見方・考え方が使えないか、言葉かけをする。</li> <li>・Figjamやクラスルーム等に、見方・考え方を提示しておく。</li> </ul>	
特別支援部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の早い段階で着目することや解き方、方向性を明確にする。</li> <li>・振り返りの話型が必要。</li> </ul>	

各学年部で具体的な手立て等を設定 → 振り返り  
「学び方のスキル」は重点項目を全学年で設定

# 授業改善部会の取組

授業改善に向けた共通理解・共通実践に向けて



本校職員による、各教科の授業づくり研修

# 授業改善部会の取組

## 小研・中研 → 代わりに「参観授業」を複数回

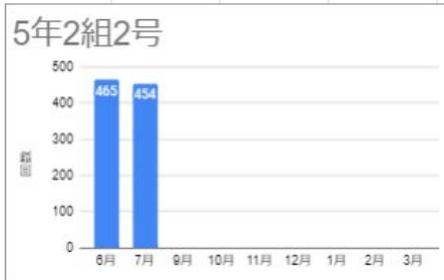
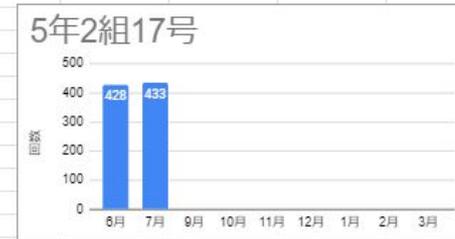
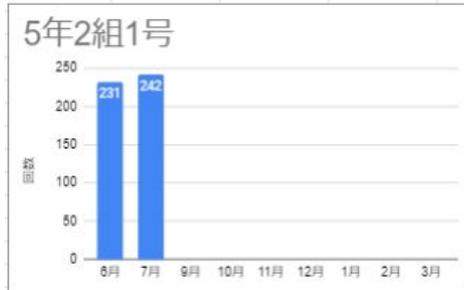
第1回	
※授業の見どころは、いくつでも構いません	
本時の目標（児童の姿）	
経験したことの書き方を理解し、経験を思い出しながらかくことができる。	
授業の見どころ①	具体
端末活用 ▼	学びポケットのチャンネルに写真を送り、児童はそれを見ながら経験を思い出し、書く材料を集める。
授業の見どころ②	具体
学び方のスキル ▼	学習の流れを①きめる②はなす③書くと設定し、児童が主体的に学びに参加できるようにする。
授業の見どころ③	具体
見方・考え方 ▼	3つの文を書くことをめざす。○したこと○見たこと○聞いたこと○思ったことを視点とする。
↓	
振り返り	
児童が、今できる端末の活用ということで、学びポケットのチャンネルに写真を送り、その中から書く材料を集めさせたいと考えた。1回目は1枚の写真、2回目は2枚の写真、3回目は3枚の写真というように選択肢を増やした。その上で、「したこと・みたこと・聞いたこと・おもったこと」を視点	

第1回	
※授業の見どころは、いくつでも構いません	
本時の目標（児童の姿）	
授業の見どころ①	具体
学び方のスキル ▼	教師が操作する絵を見て、引き算の問題文をつくる。問題→大事な言葉→課題→具体物操作→立式・計算の流れをパターン化。
授業の見どころ②	具体
見方・考え方 ▼	ブロックを並べて、「同じ部分」「ちがいの部分」を明確にし、どの部分を除くと「ちがい」が分かるのかに目を付けて操作する。
授業の見どころ③	具体
▼	
↓	
振り返り	
単元を通して、学習の流れをパターン化して行ったため、スムーズな流れで自ら学ぶ姿が見られた。自力解決では、今後は○図を使って考えさせるなどして、題意をしっかりと捉えられるようにしたい。自分の考えをペアやグループで説明する活動を通してアウトプットさせ、理解を確実にしたい。	

## 実践の蓄積と振り返りの時間・回数確保

# 学びの基盤部会の取組

タイピング技能の向上に向けて



個人のタイピングスキルの変容の可視化

# 学びの基盤部会の取組

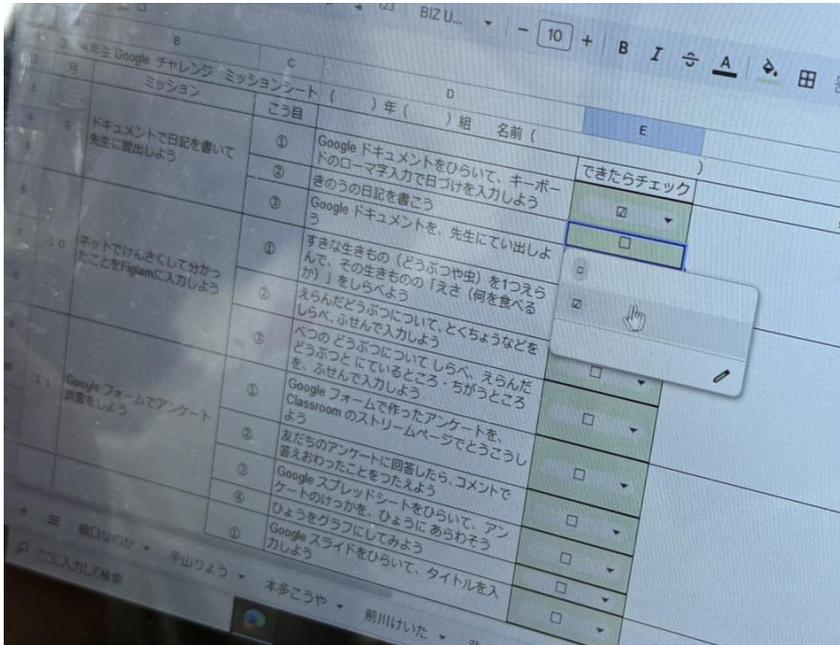
## 端末持ち帰りの充実

型	イメージ	概要	例
振り返り・復習型		授業内容の振り返りを家庭で行ったり、復習したりする。また、知識技能の定着に向けた問題練習も含む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドキュメントに問題練習</li> <li>・スプレッドシートに振り返り記入</li> <li>・<a href="#">MEXCBT</a>や教材出版社の<a href="#">デジタル問題の活用</a></li> </ul>
資料作成型		家庭で発表資料（プレゼンテーションやスピーチ原稿）などを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドにプレゼンをまとめる</li> <li>・ドキュメントに考えをまとめる</li> </ul>
撮影型		カメラ機能を用いて撮影・記録したり、記録した映像等を視聴して、考えをまとめたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育「マット運動」を家で練習 → 撮影</li> <li>・国語で音読を撮影</li> </ul>
共有型		自分の考えや思いなどを家庭でも伝え合ったり、共有したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャットで作品などを共有</li> <li>・班ごとのグループチャットで話し合い</li> </ul>
反転学習型		教師が事前に用意した課題に対して家庭で取り組ませて、授業前に各自が考えを持つことができるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が準備した動画を家で視聴し、考えを持たせる</li> </ul>

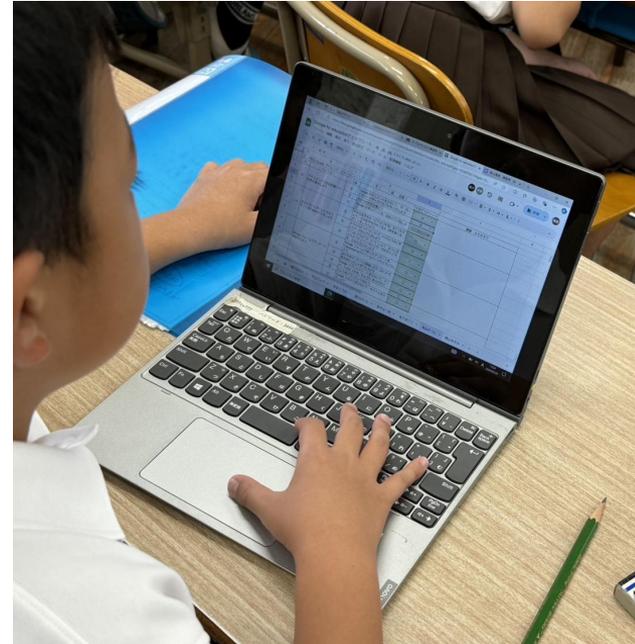
端末がより文房具の一つになるように

# 学びの基盤部会の取組

アプリ活用スキル( Google for Education活用表の活用)



ミッション	ご項目	年( )組 名前( )	
ドキュメントで日記を書いて先生に出ししよう	① Google ドキュメントをひらいて、下のローマ字入力で日づけを入力しよう		できたらチェック
	② きょうの日記を書こう		<input type="checkbox"/>
	③ Google ドキュメントを、先生に提出しよう		<input type="checkbox"/>
ネットでけんさくして分かったことをFigJamに入力しよう	① すきな生きもの(どうぶつや虫)を1つえらんで、その生きもの「えさ(何を食べるか)」をしらべよう		<input type="checkbox"/>
	② えらんだどうぶつについて、とくちょうなどをしらべ、ふせんで入力しよう		<input type="checkbox"/>
	③ べつのもうひとつについてしらべ、えらんだどうぶつといてるところ・ちがうところを、ふせんで入力しよう		<input type="checkbox"/>
Google フォームでアンケート調査しよう	① Google フォームで作ったアンケートを、Classroomのストリームページでどうこうしよう		<input type="checkbox"/>
	② 友だちのアンケートに回答したら、コメントで答えおわたことをつたえよう		<input type="checkbox"/>
	③ Google スプレッドシートをひらいて、アンケートのけっかを、ひょうにあらわそう		<input type="checkbox"/>
	④ ひょうをグラフにしてみよう		<input type="checkbox"/>
	① Google スライドをひらいて、タイトルを入力しよう		<input type="checkbox"/>



発達段階に応じて系統的に育成

# 今後の方向性

★手立て表をもとにした「教師の役割」の研究

→重点項目の設定と振り返りの継続

★校内研修における授業検討会の設定

→学年部で授業構想

→共通理解と共通実践へ

★一人一人の児童の変容の見取り

→アンケート+授業における振り返りの質

→個に応じた指導の充実へ

★家庭学習の充実

→AIドリルの活用、授業と繋げるの工夫